PRESS RELEASE

特別展
大阪市立東洋陶磁美術館
# 安宅コレクション
# 名品選101
2023年3月18日(土)ー5月21日(日)

泉屋博古館東京 SEN-OKU HAKUKOKAN MUSEUM TOKYO

《展覧会概要・みどころ》

世界有数の東洋陶磁の名品を所蔵する大阪市立東洋陶磁美術館。その中核をなすのが、安宅産業株式会社の会長であった安宅英一氏(あたか・えいいち 1901-1994)の美意識によって収集された961件におよぶ東洋陶磁からなる「安宅コレクション」です。従来の伝統的な価値観や枠組みにとらわれることなく、安宅英一という一人の芸術家的な眼をもった収集家によって築かれたコレクションで、国宝《飛青磁 花生》《油滴天目 茶碗》に代表される優れた中国陶磁143件、高麗・朝鮮時代を代表する作品を数多く含む韓国陶磁791件を中心に構成されます。

安宅英一氏は父の安宅彌吉の安宅商会に入社後、26歳でロンドン支店長となり、帰国後30代半ばから音楽や美術に関する支援活動を始めました。戦後日本のクラシック音楽のパトロン、近代の日本画家・速水御舟のコレクターとしても知られる彼は、昭和26年(1951)安宅産業の事業の一環として美術品購入が認められると、本格的な東洋陶磁の収集を開始し、それは経営が行き詰まる昭和51年まで続きました。その後、散逸の危機に直面した「安宅コレクション」を大阪市に寄贈し、美術館建設に寄与したのが、大阪を基盤とする住友グループでした。本展では、安宅コレクションから国宝2件、重文11件を含む名品101件を選び、珠玉の東洋陶磁を紹介します。

また、こうした住友グループの文化貢献の基盤には、住友家十五代当主であった住友春翠(すみとも・しゅんすい 1864-1926)が育んだ近代的な社会貢献活動(図書館や美術館などの文化施設建設、内国勧業博覧会開催支援など)がありました。大阪市立東洋陶磁美術館設立への支援は、近代住友の社会貢献精神を受け継いだ戦後の住友グループの文化貢献事業を象徴する大きな事業のひとつといえます。リニューアルオープンした新しい展示室で、中国陶磁、韓国陶磁の名品、さらに住友コレクションの中国絵画の国宝《秋野牧牛図》（後期展示）や高麗仏画の重要文化財《水月観音像》(前期展示)とのコラボレーションをご覧頂きます。

《基本情報》

展覧会名	特別展　大阪市立東洋陶磁美術館　安宅コレクション名品選101
会　　期	2023年3月18日(土)〜5月21日(日) 前期：3月18日（土）－4月16日（日）後期：4月18日（火）－5月21日（日）
開館時間	11:00〜18:00　※金曜日は19:00まで開館　※入館は閉館の30分前まで
休 館 日	月曜日
入 館 料	一般1,200円(1,000円)、高大生800円(700円)、中学生以下無料 ※20名様以上の団体は()内の割引料金 ※障がい者手帳ご呈示の方はご本人および同伴者１名まで無料
会　　場	泉屋博古館東京〒106-0032東京都港区六本木1-5-1 https://sen-oku.or.jp/tokyo/ TEL:050-5541-8600(ハローダイヤル)
主　　催	公益財団法人泉屋博古館、住友グループ各社、大阪市立東洋陶磁美術館、日本経済新聞社

《展示構成》

＊掲載作品の所蔵はすべて大阪市立東洋陶磁美術館(住友グループ寄贈／安宅コレクション) 写真：六田知弘

第一章　珠玉の名品

安宅コレクションを代表する珠玉の名品をご紹介します。茶の湯的な美意識や近代以降の新たな鑑賞陶磁や民藝的な美意識を超えて、安宅英一が見出した「美」の神髄をご堪能ください。

《加彩 婦女俑》
中国 唐時代
8世紀

《青磁陽刻 牡丹蓮花文 鶴首瓶》
韓国 高麗時代 12世紀

《青磁陽刻 筍形水注》
韓国 高麗時代 12世紀

《青磁象嵌 竹鶴文 梅瓶》
韓国 高麗時代
12世紀後半-13世紀前半

《粉青鉄絵 蓮池鳥魚文 俵壺》
韓国 朝鮮時代
15世紀後半-16世紀前半

第二章　韓国陶磁の美

安宅コレクションの中でも質、量ともに世界有数のコレクションである韓国陶磁。その柔らかな美しさは早くから日本人の心を魅了しました。高麗時代、朝鮮時代と各時代を代表する名品を紹介します。

重要文化財
《青磁象嵌 童子宝相華唐草文 水注》
韓国　高麗時代
12世紀後半-13世紀前半

《白磁 扁壺》
韓国　朝鮮時代
16世紀

第三章　中国陶磁の美

宋・元・明時代を中心とする中国陶磁は、昭和40年代に入手した鴻池家伝来の国宝《飛青磁 花生》、酒井家伝来の国宝《油滴天目 茶碗》、加賀前田家伝来の重要文化財《木葉天目 茶碗》という伝世の茶の湯の名品に代表されます。また、「雨過天晴」とも形容される北宋時代の宮廷用の汝窯青磁や各名窯の優品など見どころ満載です。

国宝《飛青磁 花生》
中国 元時代 14世紀

国宝《油滴天目 茶碗》
中国 南宋時代 12-13世紀

重要文化財《木葉天目 茶碗》
中国 南宋時代 12-13世紀

エピローグ　「歴史に残っても仕様がないでしょう」されど

厳選した１０１点の中から、さらに安宅英一氏の思い入れが強く、収集時の秘話が残る作品をご紹介します。

《貸出可能画像・キャプション一覧》

＊リリース掲載順

	《加彩 婦女俑》(かさい ふじょよう) 中国　唐時代　8世紀 大阪市立東洋陶磁美術館(住友グループ寄贈／安宅コレクション) 写真：六田知弘
	《青磁陽刻 筍形水注》(せいじようこく たけのこがたすいちゅう) 韓国　高麗時代　12世紀 大阪市立東洋陶磁美術館(住友グループ寄贈／安宅コレクション) 写真：六田知弘
	《青磁象嵌 竹鶴文 梅瓶》(せいじぞうがん たけつるもん めいぴん) 韓国　高麗時代　12世紀後半-13世紀前半 大阪市立東洋陶磁美術館(住友グループ寄贈／安宅コレクション) 写真：六田知弘
	《青磁陽刻 牡丹蓮花文 鶴首瓶》 (せいじようこく ぼたんれんかもん かくしゅへい) 韓国　高麗時代　12世紀 大阪市立東洋陶磁美術館(住友グループ寄贈／安宅コレクション) 写真：六田知弘
	《粉青鉄絵 蓮池鳥魚文 俵壺》 (ふんせいてつえ れんちちょうぎょもん ひょうこ) 韓国　朝鮮時代　15世紀後半-16世紀前半 大阪市立東洋陶磁美術館(住友グループ寄贈／安宅コレクション) 写真：六田知弘
	国宝《飛青磁 花生》(とびせいじ はないけ) 中国　元時代　14世紀 大阪市立東洋陶磁美術館(住友グループ寄贈／安宅コレクション) 写真：六田知弘
	国宝《油滴天目 茶碗》(ゆてきてんもく ちゃわん) 中国　南宋時代　12-13世紀 大阪市立東洋陶磁美術館(住友グループ寄贈／安宅コレクション) 写真：六田知弘
	重要文化財《木葉天目 茶碗》(このはてんもく ちゃわん) 中国　南宋時代　12-13世紀 大阪市立東洋陶磁美術館(住友グループ寄贈／安宅コレクション) 写真：六田知弘

《お問い合わせ先》

泉屋博古館東京　広報担当：橋本旦子　展覧会担当：森下愛子(泉屋博古館東京学芸員)

TEL: 03-3584-8136　FAX: 03-3584-8137

E-mail : pr-tokyo@sen-oku.or.jp